

令和3年度事業報告

1. 公1 軟式野球大会開催事業

(7) 軟式野球大会開催事業

(1) 各種軟式野球大会の開催

下表のとおり、13大会を開催し無事終了した。

8大会は、新型コロナウイルス感染症拡大のため大会が中止となった。

大会名	会期	開催支部	参加 チーム数	備考
天皇賜杯第76回全日本軟式野球大会 ENEOS トーナメント	10月15日(金) ～10月20日(水)	東京都	53	大阪府・大阪シティ信用金庫
高松宮賜杯第65回 全日本軟式野球大会	1部 9月4日(土) ～6日(月)	岡山県	32	大阪府・大阪バンバータ
	2部 10月23日(土) ～25日(月)	熊本県	32	愛知県・株式会社 寿々
高円宮賜杯第41回全日本学童軟式野球大会 マクドナルド・トーナメント	8月17日(火) ～23日(月)	新潟県	54	大阪府・長曽根ストロングス
文部科学大臣杯第12回全日本少年春季軟式野球大会 日本生命トーナメント	9月18日(土) ～22日(水)	静岡県	50	石川県・星稜中学校
第6回全日本中学女子軟式野球大会 (SP トーナメント)	10月9日(土) ～12日(火)	石川県	39	三重県・三重高虎ガールズ 兵庫県・KOBE Red Girls
第38回全日本少年軟式野球大会	8月23日(月) ～25日(水)	長崎県・佐賀県	16	石川県・星稜中学校
第76回国民体育大会 (三重とこわか国体)	成年男子 9月25日(土) ～29日(水)	三重県	32	感染症拡大のため中止
第43回 東日本軟式野球大会	1部 5月29日(土) ～31日(月)	山梨県	26	感染症拡大のため中止
	2部 5月22日(土) ～24日(月)	富山県	28	感染症拡大のため中止
第43回 西日本軟式野球大会	1部 5月15日(土) ～17日(月)	鳥取県	26	感染症拡大のため中止
	2部 6月5日(土) ～7日(月)	京都府	26	感染症拡大のため中止
水戸市長旗 第29回東日本軟式野球選手権大会	10月30日(土) ～11月2日(火)	茨城県	28	千葉県・A K I R A
第25回 西日本軟式野球選手権大会	10月30日(土) ～11月1日(月)	佐賀県	26	佐賀県・医療法人 ひらまつ病院
第66回 中部日本都市対抗軟式野球大会	11月5日(金) ～8日(月)	愛知県	13	静岡県・静岡ガス株式会社
第4回全日本シニア軟式野球大会 (ドックラッセトーナメント)	6月5日(土) ～7日(月)	岡山県	未定	感染症拡大のため中止
スポニチ杯 第5回全日本軟式野球大会	11月20日(土)	沖縄県	4	千葉県・A K I R A
NPB ガールズトーナメント 2021	7月31日(土) ～8月5日(木)	愛媛県	39	栃木県・栃木スーパーガールズ
日本スポーツマスターズ 2021	9月18日(土) ～20日(月)	岡山県	32	感染症拡大のため中止
第43回 全国中学校軟式野球大会	8月17日(月) ～20日(木)	千葉県	25	島根県・大田市立第二中学校
第43回 全国スポーツ少年団軟式野球交流大会	8月13日(木) ～16日(月)	沖縄県	16	感染症拡大のため中止

(2) 競技者の一元管理、登録事務の効率化を目的とする競技者登録システムの導入に向けて、日本野球機構（NPB）と利用契約を締結した。2022年4月より各都道府県にてテスト稼働となる。

(3) 寄付金関係

公益目的事業実施のために3企業・1団体より寄付を受けた。

- ① (株) エスエスケイ
- ② ヤング(株)
- ③ (株)NPB エンタープライズ
- ④ (公財)日本高等学校野球連盟・毎日新聞社

(4) 助成金関係

次の事業実施に際し、5団体より助成金の交付を受けた。

- ① 令和2年度選手強化NF事業補助金(日本オリンピック委員会)
- ② 選手強化事業交付金(日本オリンピック委員会)
- ③ 少年野球振興事業助成(ミズノスポーツ振興財団)
- ④ スポーツ普及奨励助成事業及びスポーツ安全保険普及委託活動費(スポーツ安全協会)
- ⑤ 令和2年度事業継続緊急対策テレワーク助成金(東京しごと財団)
- ⑥ 日本スポーツマスターズ2021競技会運営補助交付金(JSPO)

(5) 協賛金関係

次のとおり、5団体、7企業より協賛を受けた。

- ① 日本マクドナルド(株)より全日本学童大会の全国大会、支部大会の実施等に対し協賛を受けた。
- ② ENEOS(株)より天皇賜杯大会の全国大会、支部大会への協賛を受けた。
- ③ 全国労働金庫協会より、ろうきん杯実施支部への協賛を受けた。
- ④ ミズノ(株)より全軟連に協賛を受けた。
- ⑤ (株)アシックスジャパンより全軟連に協賛を受けた。
- ⑥ 日本生命保険相互会社より全日本少年春季大会へ協賛を受けた。
- ⑦ 佐川印刷(株)より、全日本中学女子大会への協賛を受けた。
- ⑧ エスピータック(株)より、スポニチ杯への協賛を受けた。
- ⑨ 全国新聞社事業協議会より、全日本学童大会へ協賛を受けた。
- ⑩ (一社)日本野球機構より、NPBガールズトーナメントおよびNPB12球団ジュニアトーナメントへの協力に対し、協賛を受けた。
- ⑪ (公財)新潟観光コンベンション協会より、全日本学童大会へのコンベンション開催補助金交付を受けた。
- ⑫ 新潟県より、全日本学童大会へのコンベンション開催補助金交付を受けた。

(6) 協賛金・助成金交付

次のとおり、協賛金・助成金を交付した。

- ① 47支部に対し、マクドナルド協賛金を交付。
- ② 47支部に対し、ENEOS協賛金を交付。
- ③ 全日本少年春季大会出場42支部に対し、日本生命協賛金を交付。
- ④ NPBガールズトーナメント2021出場39チーム・38支部に対し、助成金を交付。

- ⑤ 天皇賜杯大会開催県の協賛協力金として ENEOS 協賛金を交付。
- ⑥ 全日本少年春季大会開催県の協賛協力金として日本生命協賛金を交付。
- ⑦ ろうきん杯を実施した 2 支部に対し、助成金を交付。
- ⑧ 新型コロナウイルス感染症対策特別支援として 47 支部・9 ブロックに助成金を交付。
- ⑨ 中学女子大会出場 38 支部に対し、助成金を交付。
- ⑩ スポニチ杯大会出場 4 チームに対し、助成金を交付。

(7) ドーピング検査の実施

天皇賜杯第 76 回大会にてドーピング検査（8 検体）を実施し、全て陰性であった。

(イ) 審判員等養成事業

下表(1)、(2)、(3)事業を下記の通り、実施した。(4)の研修会は新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催を中止した。

(1) 全国審判技術研修員講習会

対象地区	日 程	場 所	受講者	修了者
全 国	2 月 27 日 (土)	オンライン開催	43 名	17 名

(2) 全国審判技術指導員研修会（ブロック別指導員）

対象地区	日 程	場 所	受講者
北海道・東北地区	3 月 6 日 (土)	オンライン開催	139 名
関 東 地 区			
北信越・東海地区			
近畿・中国・四国・九州地区			

(3) 審判ブロック講習会(ブロック別)

対象地区	日 程	場 所	受講者
北 海 道	8 月 7 日 (土)～2 日間	北海道・北見市	32 名
東 北	11 月 6 日 (土)～2 日間	福島県・福島市	33 名
関 東	11 月 20 日 (土)～2 日間	群馬県・前橋市	44 名
北 信 越	10 月 23 日 (土)～2 日間	福井県・福井市	36 名
東 海	11 月 20 日 (土)～2 日間	岐阜県・神戸町	22 名
近 畿	11 月 20 日 (土)～2 日間	奈良県・橿原市	37 名
中 国	11 月 13 日 (土)～2 日間	広島県・広島市	40 名
四 国	10 月 23 日 (土)～2 日間	高知県・高知市	22 名
九 州	11 月 27 日 (土)～2 日間	熊本県・熊本市	44 名

(4) 全国審判技術指導員スキルアップ研修会

対象地区	日 程	場 所	備 考
全 国	12 月 4 日 (土)～2 日間	埼玉県・伊奈町	感染症拡大のため中止

(ウ) 公認軟式野球規則制定・頒布及び公認野球規則頒布事業

(1) 競技者必携

支部その他に、56,929 部を有償、無償で 31 部を頒布した。

(2) 公認野球規則

支部、その他に 46,503 部を有償、無償で 21 部を頒布した。

2. 公2 軟式野球競技を普及するための助成及び広報事業

(7) 各種軟式野球大会普及促進助成事業

(1) 関係団体助成金

軟式野球競技普及に対する助成金として下記 9 団体に交付した。

- ① 全日本大学軟式野球協会
- ② 公益財団法人日本高等学校野球連盟
- ③ 全国高等学校定時制通信制軟式野球連盟
- ④ 全日本ろう社会人野球連盟
- ⑤ 全国専門学校野球連盟
- ⑥ 全日本還暦野球連盟
- ⑦ アオダモ資源育成の会
- ⑧ 全国官公庁野球連盟
- ⑨ 全日本女子軟式野球連盟

(2) 各種全国大会等後援関係

軟式野球の全国的な組織を主催者とする団体等に対し、以下の 11 事業を後援した。

- ① 全国高等学校軟式野球選手権大会
- ② 全日本大学準硬式野球選手権大会、全日本大学選抜準硬式野球大会、全日本大学 9 ブロック対抗準硬式野球大会
- ③ 全国専門学校軟式野球選手権大会
- ④ 全日本ろう社会人軟式野球選手権大会
- ⑤ 全国高等学校定時制通信制軟式野球大会
- ⑥ 高野山旗全国学童軟式野球選手権大会
- ⑦ 全国青年大会
- ⑧ くりくり少年野球選手権大会
- ⑨ MLBドリームカップ 2021 supported by XEBIO Group
- ⑩ 全国 500 歳野球大会
- ⑪ 全国中学生軟式野球大会

(イ) スポーツ指導者養成事業

(1) 日本スポーツ協会公認コーチ3 養成軟式野球専門科目講習会

新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、オンラインとオンデマンド併用開催とし、61名の受講者が参加し、無事に全日程終了した。

オンライン講習会前期：11月27日（土）～28日（日）

オンライン講習会後期：12月18日（土）～19日（日）

オンデマンド配信：12月23日（木）～1月16日（日）

令和2年度受講者向け専門科目講習会(実技)の開催を行った。

実技座学講習：4月24日(土)

会 場：国立オリンピック記念青少年総合センター

受 講 者：41名

(2) 成長期のスポーツ障害予防・指導者講習会

新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、オンラインでの講習会を開催した。

※令和3年度スポーツ振興くじ助成事業として開催（北信越・東海・近畿ブロックと中国・四国・九州ブロックは、令和4年1月に開催）

ブロック	日 程	場 所	受講者
北海道・東北・関東	令和3年12月4日(土)	オンライン開催	132名

(3) 助成金

日本スポーツ協会より、スポーツ指導者養成事業交付金（R2年度分）、公認コーチ養成専門科目講習会委託金の助成を受けた。

(ウ) 広報活動事業

(1) 連盟ホームページの活用

平成23年より使用していた全軟連ホームページを10年ぶりにリニューアルした。近年のIT環境の変化に対応することやセキュリティ強化、スマートフォンとパソコンのそれぞれに最適化されたページを閲覧できるようにした。

ホームページの活用として、全日本学童大会において全53試合をインターネット動画配信にて実施し、天皇賜杯大会においても初めて、準決勝と決勝戦の合計3試合のインターネット動画配信を実施した。

(2) 広報誌の発行

連盟広報誌として、全軟連 News の第2巻を発刊した。内容は、大会結果およびコロナ禍における新たな取り組み、障害予防や話題のチームによる好事例を紹介した。配布は、支部ならびに学童部登録チーム宛てとした。また、ベネッセ・コーポレーションの協力を得て、学童部および少年部の広報誌をそれぞれ1回ずつ発行、各都道府県支部ならびに中体連の協力のもと、登録チームへ配布

を行った。配布に際し、広報活動事業に対してベネッセ・コーポレーションより協賛を得た。

(3)Facebook、Instagram、YouTubeによる情報発信

各種大会、組み合わせ抽選会、講習会等の連盟の事業活動を、HPによる発信を補完する形で、Facebook、Instagramに加え、全軟連公式YouTubeチャンネルを通じて情報発信を行った。

3. 収1 野球用具検定事業

公認ボールの普及促進のため、支部公認球購入費助成として35支部へ助成金を交付した。

4. 収2 不動産賃貸事業

軟式野球会館の1階、2階、5階スペース、及び駐車スペース3台分を賃貸。
軟式野球会館の外ガラス及び外階段、エントランススタイルの清掃を行った。

5. 収3 物品販売事業

役員帽子、ベルト、ワッペン等の制定物品を販売した。

6. その他連盟が推進する事業・活動

(1)職業野球退団者の本連盟復帰者

支部より15名の申請があり、資格審査の結果全員復帰を認めた。

令和3年12月末までの復帰者総計605名。(40歳以上も含む)

NO.	支部	氏名	最終球団
591	茨城	塚原 頌平	オリックスバファローズ
592	埼玉	矢島 陽平	読売ジャイアンツ
593	熊本	橋本 篤郎	読売ジャイアンツ
594	岐阜	松本 京志郎	東北楽天ゴールデンイーグルス
595	鹿児島	高山 竜太郎	読売ジャイアンツ
596	愛知	中藤 義雄	近鉄バファローズ
597	岐阜	加藤 脩平	読売ジャイアンツ
598	東京	坂本 一将	オリックスバファローズ
599	兵庫	平岡 敬人	広島東洋カープ
600	東京	菅原 将太	千葉ロッテマリーンズ
601	北海道	鈴木 駿也	福岡ソフトバンクホークス
602	福井	森本 将太	オリックスバファローズ
603	鹿児島	柿沢 貴裕	読売ジャイアンツ
604	東京	田代 将太郎	東京ヤクルトスワローズ
605	大阪	仲澤 忠厚	福岡ソフトバンクホークス

(2) 表彰関係

① 表彰委員会規程による表彰

令和3年度の功労者（15名）の皆様を評議員会の席上において表彰する。

ブロック	人員	受賞者名
北海道	1	沼田 俊治（北海道）
東北	2	北澤 松一（宮城） ・ 橋本 隆一（福島）
関東	2	田中 孝男（埼玉） ・ 伊藤 裕亮（千葉）
北信越	2	赤尾 正雄（長野） ・ 宮川 豊彦（石川）
東海	2	加藤 廣美（静岡） ・ 林 保司（岐阜）
近畿	2	太田 秀男（大阪） ・ 中島 英信（兵庫）
中国	1	木元 康二（広島）
四国	1	藤井 隆義（香川）
九州	2	吉永 富雄（熊本） ・ 前本 和男（宮崎）
計	15	

② 読売新聞社主催 令和3年度第70回日本スポーツ賞

競技団体別最優秀賞 大阪シティ信用金庫(大阪府)

③ 旭日双光章 安岡 豊実 評議員 (高知県)

中村 敏治 顧問 (福岡県)

旭日単光章 新発田 貞夫 支部顧問 (新潟県)

井料田 豊 支部理事長 (宮崎県)

(3) 開発途上国への軟式野球用具の寄贈について

各支部ならびに一般の方々からの協力により集まった野球用具を外務省のスポーツ外交推進事業（器材輸送支援事業）と JICA 国際協力機構「世界の笑顔のために」プログラムにて、インドとマレーシアに寄贈を行った。

世界の野球競技の普及および軟式野球の PR を目的に、引き続き野球途上国へ用具支援を行っていくこととする。